

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870501552
法人名	有限会社 ほほえみ
事業所名	グループホーム 微笑の家
所在地	新居浜市船木上長野甲581-2
自己評価作成日	平成23年2月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①主治医が月に1度の定期往診と何かあれば適宜往診・加療して頂き、また精神科医も月に1度往診して頂き入居者の健康管理にあたっています。服薬も院外処方で一包化により誤薬なく安全確実に飲まれています。看護師も24時間体制で医療相談等実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

協力医療機関との連携体制が整っており、定期的な往診と必要な時にいつでも往診してもらえ、健康管理や医療面において安心感がある。管理者や職員は利用者一人ひとりと向き合い、認知症であってもその人らしく生きがいをもちながら生活できるよう支援している。利用者や家族との会話を大切にしたり、得られた情報は申し送りや会議等で十分に話し合っており職員間で共有し、日々のケアに活かしている。敷地内には同法人の事業所が隣接しており、行事や地域交流等あらゆる面で協力して行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名	微笑の家
(ユニット名)	れんげの里
記入者(管理者)	
氏名	村上由晃
評価完了日	平成 23 年 2 月 15 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 介護に対する思いを理念として掲げ、毎朝管理者を含む職員全員で唱和して共有し実践につなげています。</p> <p>(外部評価) 事業所の理念を職員や来訪者にも分かるように見やすい所に掲示している。毎朝職員全員で唱和する等、常に基本に立ち返りながら支援に努めている。管理者は理念を簡潔で分かり易い表現となるよう職員と話し合う事で、さらに意識統一を図りたいと考えている。</p>	管理者や職員は、これまでも理念に基づき同じ方向性を持って日々の支援を行っているが、理念について職員全員で話し合う事で、さらに高度な支援に繋げていく事を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域の一員として地域の奉仕作業や行事等に参加をしています。盆踊り大会や太鼓祭り等への参加、また七夕では地域の子供さんたちとの交流やボランティアさんも受け入れており、様々な立場の方々と交流を図っています。</p> <p>(外部評価) 管理者や職員は地域の会合や行事に積極的に参加している。地域の方も事業所の行事等に参加してくれたり、協力してくれる。ボランティアの受け入れも多く、掃除や草ひき等に来てくれる。身体障害者の方達が手作りパンを定期的に販売に来てくれ利用者や職員が利用している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 施設での催し物等の時は地域の方々への案内や参加を呼びかけています。運営推進会議では地域に貢献できるような活動を取り上げて計画しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2ヶ月に一度開催しており、入居者や家族代表者も参加して報告や意見交換を行い、要望や意見は積極的に取り入れサービスの向上を目指しています。	
			(外部評価) 隣接する同法人内の小規模多機能型居宅介護支援事業所と合同開催している。利用者や家族、地域住民、行政、職員等多くの参加者を得て、事業所からの報告や意見交換が活発に行われている。	管理者は会議内容等の見直し、勉強会等も取り入れたいと考えている。専門性を活かした情報を地域に発信する事で、さらに理解と協力が得られる事を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 介護相談員の相談活動を受けており、2ヶ月に1回定期的に訪問して頂く等、地域包括支援センターや介護福祉課とも常に連携しています。	
			(外部評価) 市の担当者は運営推進会議に毎回参加し、情報提供や意見交換等を行っている。事業所は介護福祉課や地域包括支援センターに出向いたり、電話等で連携を密に行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 代表者及び全職員で「どんな状況になろうと絶対に拘束はしない。」という姿勢を持ち安全を確保しつつ自由な暮らしを支援する為の工夫に取り組んでいます。足元センサーマットなどの利用や入り口はインターホーンで対応し日々のケアを行っています。	
			(外部評価) 職員は研修や勉強会等で、身体拘束について学び良く理解している。日々の支援の中でも常に安全面に配慮しながら、利用者がその人らしく自由に生活できるよう、職員全員で話し合いを重ねながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされる事がないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 全体会等で定期的にテーマをあげ学ぶ機会を持ち、禁止となる行為はしないと文章による伝達を行っています。事業所内での虐待が見過ごされる事が無いように注意を払い虐待防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員の研修参加により資料等現場に持ち帰り学習会に反映させています。該当者は現在居ませんが必要性が出れば県・市と相談しながら対応していきます。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族には詳しく説明を行っています。また入所契約時には時間を十分とって理解を求めています。料金改定時や重度化により機器具等の使用負担が発生するときも説明し同意を得ています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎年敬老会の後に合同家族会を開催し、意見や要望を出して頂く機会を設けています。それ以外にも面会時等に定期的に意見・要望を伺い検討して早目の解決ができる様に取り組んでいます。  (外部評価) 家族の面会が多く、管理者や職員は話す機会を積極的に持ったり、家族会を開催し意見や要望等について聞き取るよう心がけ、家族の意見や要望を運営に反映させるよう努めている。毎月、家族あてに利用者の状態や生活の様子が分かるようお知らせを送付している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 運営方針は申し送り時や会議等で職員の意見・提案を聞く機会を設け反映させている。</p> <p>(外部評価) 職員が申し送りや会議等で意見を出したり、管理者に直接言う事もできる環境が整っている。意見や提案は、代表者や管理者、職員で話し合い運営に反映できる仕組みとなっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 代表者は、ホームに立ち寄られた際には管理者や職員と会話し、職員の勤務状況等を把握し向上心が持てるように心がけています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 職員の力量に応じて内・外部の研修に参加させています。内部研修は学習会や全体会の中で行っています。各種資格習得もその都度勧め、スタッフのモチベーションを上げるよう促しています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 管理者は新居浜市介護支援専門員の地域密着型部会に所属し情報交換を行っている。職員も愛媛グループホーム協議会の相互研修に毎年参加しており、他事業所との交流の中でお互いに良い所を取り入れて、サービスの向上に繋げています。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 入居までに必ず御本人・家族と面会を行い、御本人・家族の困っている事・不安な事をしっかり聞き受け止めるようにしています。意志の疎通を図り信頼関係を築くように努力しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 面接時より家族の話を傾聴し、フェースシートを利用し情報収集し、家族の介護負担を共感し受け止めるように努力しています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 初めての相談や面接時にはゆっくりお話しを傾聴し、相手の要望を見極め適切なアドバイス等を行っています。入居においては待機状況もあるが状況等懸案し早急な対応を図っています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) スタッフと利用者はお互いに親近感を持ち、助け合っ仲間・家族のような思いの中で、協力しながら信頼関係を深めています。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族には御本人の良いところを伝えるようにし、支援の必要な部分は家族にも相談し、御本人の希望を共有し合える関係作りに努めています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会や外出等の制限は無く、御本人の希望を聞きながら家族の協力を得て、できるだけ支援しています。  (外部評価) 入居時にこれまでの生活歴を十分に情報収集し、入居後も馴染みの人や場との関係が途切れないよう大切にしている。家族の協力もあり、一緒に外出する利用者もいる。特に地元の秋祭りは利用者にとっては特別で、職員と一緒に神輿や太鼓台を見に出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の日常の接し方を見極め揉め事や孤立等の無いように個々の利用者の話を傾聴し、その都度早く対応するようにしています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 他老人施設へ転居の場合等には、介護サマリーで経過を報告し、必要に応じて退去後も訪問・相談等の支援を行っています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者がその人らしく暮らしていくことができる様、個別に対話し個々の思いや希望・意見等を把握しています。日々の経過記録やアセスメントシート等に記入し、情報を共有し家族にも相談・報告しています。  (外部評価) 利用者とのコミュニケーションを大切にしており、一人ひとりと向き合う事で、思いや意向を汲み取るよう実践している。得た情報は記録し、さらに職員間で共有できるよう時間をかけて申し送りを行ったり、会議等で話し合われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族からそれぞれの家庭環境や歴史を伺い、プライバシーを守りながらその人個人の生活歴・性格を把握し、アセスメントシートを作成しています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者との生活の中で一日の過ごし方を観察し、御本人の出来る事・わかる事を見出し、現在の心身状況を把握するようにしています。	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 担当職員が利用者の様子を経観し、全職員で話し合いケアプランを立てています。また、医療面では看護師・主治医そしてご家族に相談し利用者本位のケアプランとなるように心がけています。</p> <p>(外部評価) 職員全員が気づきや新しい情報を記録し、申し送りや会議等で共有し、話し合って介護計画の作成を行っている。家族の要望は事前に把握し、医療機関との連携も行っている。計画の見直しは定期的に行っているが、利用者の状態の変化に応じて随時行っている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 個人別ファイルに見やすいよう時系列で記録しています。体調変化はもとより、利用者の言われたことや様子を具体的に記入するようにしています。都度ケアプランに沿ったものであるかどうか確認するよう気をつけています。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 利用者の性格・身体状況等を考慮してお手伝いをして頂いたり、併設のデイサービス・小規模多機能の行事にも参加したり、必要に応じて介護車両で外出や受診等の支援が出来ます。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 出来る限り利用者の情報を収集し必要に応じて連携を取ったり、各種ボランティアを受け入れや地区・地域行事に参加したり、子供達との交流も行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 主治医の月1回の定期健診と状態が悪化した時の不定 期の往診を随時して頂いております。また精神科の専 門医も月に1回定期健診を実施して頂いております。</p> <p>(外部評価) 利用者や家族が希望する医療機関を受診することがで きるが、協力医をかかりつけ医としている利用者が多 い。月1回の定期や必要に応じて随時に往診してもら える体制が整っている。健康管理や治療面においてか かりつけ医との連携を十分に行い適切な医療を受けら れるよう支援している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 常勤正看護師が配置されていて、速やかに報告・相談 し適切に医療機関と連携できるようにしています。看 護師が休みの時も併設のデイサービス・小規模多機能 の看護師が来て相談にのってくれます。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 入院時には看護師が同行して状況説明等詳しく医療機 関に説明し、早期退院に向け医療機関とも情報交換等 連携を深めています。退院時には退院サマリーに基づ き今後の諸注意等担当者会議を開いて情報の共有を 行っています。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 重度化した場合、本人・ご家族の意向をお伺いし、主 治医を交えてモンテラを行い納得のうえ方針を決めケ アプラン作成し対応しています。</p> <p>(外部評価) 協力医との連携体制や看取りの指針が整っている。重 度化した利用者について家族や職員、管理者、かかり つけ医等で何度も話し合いを持ち利用者本位のケアが 提供できるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルを作成し、全職員が内容を把握しておくと共に、実践においても勉強会・訓練を定期的に行い緊急時には冷静かつ的確な対応が取れるように備えています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災マニュアルを作成し、消防署の指導・訓練を実施しています。日頃から地域の人たちとの交流も頻回に行っており災害時には協力が得られるよう働きかけています。  (外部評価) 消防署立会いの訓練や、事業所独自の訓練を行い、アドバイスや反省を踏まえ次の訓練に活かしている。敷地内には同法人の事業所が隣接しており、協力体制が築かれている。地域の方々への協力が得られるよう働きかけている。	隣接する同法人の事業所との協力体制が整っていたり、地域住民に協力を働きかけているが、協力してもらっただけでなく事業所として地域に貢献できることを伝え、さらに相互協力関係が築けるよう今後の取組みに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日頃から利用者に対しての声掛けや会話は、人格を尊重するよう徹底しており、職員が人格・誇りを尊重しプライバシーを損なわないように配慮しています。  (外部評価) 職員は利用者一人ひとりと向き合い、認知症であってもその人らしく生きがいを持ちながら生活できるよう支援している。声かけや対応は利用者一人ひとりの状態に配慮して行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) イベント時の料理等も利用者が何を食いたいかわい、服装に関しても身に着きたい衣装を着て頂く様に気兼ねなくいい易い環境を心がけています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 各利用者の生活リズムを把握し、起床時や食事等日課に添っての声掛けはしています。御希望や状況等御本人のペースに合わせた生活ができる様に支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 衣服の汚れや乱れには特に気を使い、外出される時等は本人の好みを尊重しおしゃれや着替えができる様に支援しています。特に女性には紅を差したり、外部理美容業者には月に1度出張して貰って好みのヘヤースタイルにして貰っています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の好みを把握し、偏食や嚥下障害のある方にも美味しく食べて頂けるように工夫しています。また、調理のできる利用者には手伝っていただいております。  (外部評価) 準備や後片付け等、利用者のできることを無理なくしてもらっている。体の中から元気になってもらいたいとの思いから、出汁を取ったり、旬の食材を使って充実した食事内容になるよう取り組んでいる。食事介助の必要な利用者への声かけ等工夫し支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) チェック表により各利用者の食事量や水分摂取量等は必ず確認し、バランスの良い食事の提供や確保に努めています。毎月の体重測定や随時の血液検査等により栄養状態を把握しています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後には歯磨きや入れ歯の手入れをする様に声掛けしたり、必要に応じて見守り、介助する等日常的に実施しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	<p>(自己評価)</p> 各利用者の排泄パターンを把握し、失敗やオムツの使用量を減らせるようにチェック表にて確認し早めの声掛けやトイレ誘導を心がけています。リハビリパンツやパッド等は各利用者に合わせて各種使用して、自立できるよう工夫・支援しています。	
			<p>(外部評価)</p> 排泄チェック表に記録して、利用者一人ひとりのパターンを把握している。時間や表情等でタイミングを見て声かけや誘導を行い、トイレでの排泄を無理のない範囲で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> 各利用者の排便状況と便秘傾向にある人を把握し、水分補給や適度な運動を取り入れています。便秘症の方には主治医から排便コントロール薬を処方して貰っています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>(自己評価)</p> 午後からゆっくり入浴を楽しめるように支援しています。原則隔日ではありますが、希望に応じて毎日の入浴も可能です。また入浴剤を変える等楽しく入浴できる工夫をしています。	
			<p>(外部評価)</p> 入浴の時間帯や回数等は概ね決まっているが、利用者の体調や希望等により柔軟に対応している。職員は入浴中の利用者との会話を大切にしており、利用者がリラックスして入浴できるよう心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> 各利用者の睡眠パターンや生活リズムによって居室だけでなくリビングの和室等で安心して休めるよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 各利用者毎に、分別を行い誤飲・飲み忘れ等無いように服薬確認を行っています。また、薬の変更やその時の状態に合わせナースへの報告や医療連携に早めの対応をするよう努めています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 各利用者毎の生活歴を参考に、レクや行事等喜んで参加できるよう支援しています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の体調、天候に合わせて外出希望される方は、自然に触れ合ったり、買い物に出かけたり外出支援を行うように支援しています。	
			(外部評価) 毎月、外出行事を企画し季節の花を観賞したり、ドライブに出かけている。天気の良い日は、事業所の周辺をのんびり散歩し外気浴を楽しんでいる。受診の際の外出や家族と一緒に出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理のできる利用者は本人・家族の了解のもと所持して頂いています。買い物を依頼された時は、買い物後領収書・つり銭を確認していただき保管していただいています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者が電話を希望される時は、何時でも利用して頂けるよう対応しています。手紙・はがきは受け取った方が喜ばれるようアドバイス等援助しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 一般家庭と同じくリビングにはTVを置き、和室もありくつろげる空間を設けています。窓にはブラインドを付け時間に合わせて使用。壁には季節感を感じられるようカレンダー・利用者の創作品を展示するなど工夫しています。	
			(外部評価) 全体的に明るくゆったりとした造りで、両ユニットから中庭を眺めることができ開放感がある。リビングには畳の間があり、思い思いの場所で自由にくつろぐ事ができる。利用者の作品や飾りや花が活けてあり、季節が感じられるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングのTVの前にはソファを配置し、横になって休みたい方には和室もあり自由に過せるよう工夫しています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを配置し、収納スペースも広く取っています。ベッドや畳のどちらでも本人の好みに合わせて対応しています。	
			(外部評価) 居室には使い慣れた物を持ち込んだり作品を飾ったり、それぞれ趣きの違った居室になっている。希望により床に畳を敷くこともできるように畳を用意している。一人ひとりに合った生活しやすい居室になるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各利用者が自立した生活が送れるよう、手すりや足元センサーを置きトイレには、車椅子・歩行器使用の方がスムーズに出入りできる十分なスペースをとり安全な環境づくりに努めています。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870501552
法人名	有限会社 ほほえみ
事業所名	グループホーム 微笑の家
所在地	新居浜市船木上長野甲581-2
自己評価作成日	平成23年2月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年3月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

①主治医が月に1度の定期往診と何かあれば適宜往診・加療して頂き、また精神科医も月に1度往診して頂き入居者の健康管理にあたっています。服薬も院外処方で一歩化により誤薬なく安全確実に飲まれています。看護師も24時間体制で医療相談等実施しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

協力医療機関との連携体制が整っており、定期的な往診と必要な時にいつでも往診してもらえ、健康管理や医療面において安心感がある。管理者や職員は利用者一人ひとりと向き合い、認知症であってもその人らしく生きがいをもちながら生活できるよう支援している。利用者や家族との会話を大切にしたり、得られた情報は申し送りや会議等で十分に話し合っており職員間で共有し、日々のケアに活かしている。敷地内には同法人の事業所が隣接しており、行事や地域交流等あらゆる面で協力して行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 微笑の家

(ユニット名) 菜の花畑

記入者(管理者)  
氏名 村上由晃

評価完了日 平成 23 年 2 月 15 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 全ての職員が運営理念を読んでは実践につなげている。我が家の様なあたたかな暮らしの中で利用者と共に運営している。 利用者や家族、訪問者の目に入る位置に掲示しては、日常的に話している。</p> <p>(外部評価) 事業所の理念を職員や来訪者にも分かるように見やすい所に掲示している。毎朝職員全員で唱和する等、常に基本に立ち返りながら支援に努めている。管理者は理念を簡潔で分かり易い表現となるよう職員と話し合う事で、さらに意識統一を図りたいと考えている。</p>	管理者や職員は、これまでも理念に基づき同じ方向性を持って日々の支援を行っているが、理念について職員全員で話し合う事で、さらに高度な支援に繋げていく事を期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域で実施される行事へ積極的に参加したり、また反対に、各種ボランティア団体の定期的な訪問による交流を深めたり、ほほえみだよりを毎月発刊して地域住民に読んで戴くように公民館と各自治会へ配布している。</p> <p>(外部評価) 管理者や職員は地域の会合や行事に積極的に参加している。地域の方も事業所の行事等に参加してくれたり、協力してくれる。ボランティアの受け入れも多く、掃除や草ひき等に来てくれる。身体障害者の方達が手作りパンを定期的に販売に来てくれ利用者や職員が利用している。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 認知症の理解や関わり方について、相談や対応をしたり、家族やボランティア等の見学・研修の受入等、利用者のケアに配慮しつつホームを解放している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議の実施をする中で報告や活発な意見も取り入れ、利用者の発言もあり、参加者からの助言も頂き、サービスの向上につなげている。	
			(外部評価) 隣接する同法人内の小規模多機能型居宅介護支援事業所と合同開催している。利用者や家族、地域住民、行政、職員等多くの参加者を得て、事業所からの報告や意見交換が活発に行われている。	管理者は会議内容等の見直し、勉強会等も取り入れたいと考えている。専門性を活かした情報を地域に発信する事で、さらに理解と協力が得られる事を期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 市より訪問して頂いたり、管理者が市に出向き、実情や取組みを折に触れ伝えており、積極的な連携がとれている。	
			(外部評価) 市の担当者は運営推進会議に毎回参加し、情報提供や意見交換等を行っている。事業所は介護福祉課や地域包括支援センターに出向いたり、電話等で連携を密に行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 朝の合同ミーティングの資料も取り入れて、身体拘束禁止に関する文章が各部署へ配布されたり、全職員が勉強をしている。	
			(外部評価) 職員は研修や勉強会等で、身体拘束について学び良く理解している。日々の支援の中でも常に安全面に配慮しながら、利用者がその人らしく自由に生活できるよう、職員全員で話し合いを重ねながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止についての講習に参加したり、ホームでの利用者間の虐待にも注意を払い、見過ごすことなく、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在では、該当者はいないが、研修等で学び、理解出来る様に努めている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に解りやすく、十分な説明をするようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ホーム玄関口に意見箱を設置し、受け入れ易くしている。 ホームにとって意見や要望は大切な要因であり、職員全員で対応や共有することが質の向上につながると受け止めて環境を整えている。	
			(外部評価) 家族の面会が多く、管理者や職員は話す機会を積極的に持ったり、家族会を開催し意見や要望等について聞き取るよう心がけ、家族の意見や要望を運営に反映させるよう努めている。毎月、家族あてに利用者の状態や生活の様子が分かるようお知らせを送付している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 毎朝、合同朝会を行い、施設長は意見や提案を聞き、何かあれば、その都度話し合っている。 又、2か月に1度運営推進会議を行い、内外の意見も取り入れている。</p> <p>(外部評価) 職員が申し送りや会議等で意見を出したり、管理者に直接言う事もできる環境が整っている。意見や提案は、代表者や管理者、職員で話し合い運営に反映できる仕組みとなっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 代表者は施設長や管理者から職員個々の勤務状況等の報告を受け、不完全なカ所があれば、指導・改善を行っている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 職員の能力に問わず、希望者があれば、内外の研修に率先して参加して頂くように自己啓発を促しています。 又、研修の情報開示を朝礼時に行っている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 管理者は、市内介護支援専門員の地域密着部会に参加し、情報交換を行っている。 職員も県のグループホーム協議会の相互研修に参加している。</p>	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 入居に至るまでに必ずご本人と面接を行い、ご本人さんが施設に対する要求、又、それまでに抱えている不安、問題点等を説明し、解消する。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) フェースシートを活用し、情報の収集を行いながら、定期的に家族への連絡を行い、介護負担を共感し、受け止めるようにしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 初めての相談や面接の際には、相手のペースに合わせ、傾聴し、相手のニーズを見極め、適切なアドバイスを行っている。 入居者に関しては、待機状況もあるが、緊急性を考慮し対応している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者の身体レベルに応じ残存機能を活かしながら生活リハビリ等を取り入れ、家事などを行っている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会者記録を活用し、なかなか面会に来られないご家族の方には、適宜連絡を取り、ご本人さんと連絡のとれる環境作りを行っている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会や外出・外泊などの制限は設けず、ご本人の要望を聞き入れながら、家族の協力を得て支援している。  (外部評価) 入居時にこれまでの生活歴を十分に情報収集し、入居後も馴染みの人や場との関係が途切れないよう大切にしている。家族の協力もあり、一緒に外出する利用者もいる。特に地元の秋祭りは利用者にとっては特別で、職員と一緒に神輿や太鼓台を見に出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者間の関係や理解に努め利用者が孤立せず、共に生活を楽しめるように支援しています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 移り住むダメージを最小限に食い止めるため、本人の習慣・好み、これまでのケアの工夫等、詳しく伝え、暮らしの継続性をしてもらえるように働きかけています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 職員全員が一人ひとりの思いや意向に関心をはらい、日々の経過記録で情報を共有しています。  (外部評価) 利用者とのコミュニケーションを大切にしており、一人ひとりと向き合う事で、思いや意向を汲み取るよう実践している。得た情報は記録し、さらに職員間で共有できるよう時間をかけて申し送りを行ったり、会議等で話し合われている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) プライバシーに配慮しつつ個々の歴史やサービス利用に至った経過を知ると共に本人家族との関係を築きながら日々努力しています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの暮らしの流れにそって見落とされやすい本人のできる力、わかる力を暮らしの中で発見できる様に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 日々の記録を基に、他スタッフからの直接あった工夫を情報としてモニタリングし、利用者本人がこれまでより豊かな生活が送られるような介護計画の作成に努めました。</p> <p>(外部評価) 職員全員が気づきや新しい情報を記録し、申し送りや会議等で共有し、話し合って介護計画の作成を行っている。家族の要望は事前に把握し、医療機関との連携も行っている。計画の見直しは定期的に行っているが、利用者の状態の変化に応じて随時行っている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 個別ファイルにより、日々の記録は執られており、具体的な介護方法まで記すことが出来ている。したがって、情報の殆どが集約されていることから、介護計画立案・検討には充分活かされている。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 身体機能に合わせた車両を用意していることから、外出（病院受診）等も、安全で効率的に行われている。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 近所の方の訪問やボランティアさんの来所によって社会資源とのつながりを持った生活環境を提供できている。</p>	



自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) かかりつけ医の往診、精神科医（かかりつけ医あり） の場合、適切に受診できており、医療関連の支援は充 分整えられている。</p> <p>(外部評価) 利用者や家族が希望する医療機関を受診することがで きるが、協力医をかかりつけ医としている利用者が多 い。月1回の定期や必要に応じて随時に往診してもら える体制が整っている。健康管理や治療面においてか かりつけ医との連携を十分に行い適切な医療を受けら れるよう支援している。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) GH内に看護師が配置されており、24時間で医療管 理できる体制になっている。 その看護師が不在の際は、併設する他事業所の看護師 の協力も直ぐ得られる。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 看護師・管理者が入退院時に同行し、医療機関との情 報交換に努め、当施設の理解を得られるように努力し ている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 看護師・本人・家族・管理者・担当で相談し、余生 の在り方を方針として定め、医療機関にもその旨を伝 えている。</p> <p>(外部評価) 協力医との連携体制や看取りの指針が整っている。重 度化した利用者について家族や職員、管理者、かかり つけ医等で何度も話し合いを持ち利用者本位のケアが 提供できるよう努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急処置の手技を身につけ、速やかな連絡体制も明確にされている。 また、マニュアル化されており、それに沿った行動ができる練習もしている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災マニュアルを独自（関連組織）で作成し、消防署立会の訓練、指導を受けている。 運営推進会議等でも地域住民の方々の協力も得られるように、互いの情報交換・交流を深めている。  (外部評価) 消防署立会いの訓練や、事業所独自の訓練を行い、アドバイスや反省を踏まえ次の訓練に活かしている。敷地内には同法人の事業所が隣接しており、協力体制が築かれている。地域の方々への協力が得られるよう働きかけている。	隣接する同法人の事業所との協力体制が整っていたり、地域住民に協力を働きかけているが、協力してもらっただけでなく事業所として地域に貢献できることを伝え、さらに相互協力関係が築けるよう今後の取組みに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者の体調・精神状態（機嫌）などを観察しながら、適切な言葉かけ、スキンシップに努めている。 業務の中で知り得た情報は、丁寧に扱い、守秘義務を徹底している。  (外部評価) 職員は利用者一人ひとりと向き合い、認知症であってもその人らしく生きがいを持ちながら生活できるよう支援している。声かけや対応は利用者一人ひとりの状態に配慮して行われている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 自己選択できる利用者には、積極的に自己決定してもらい、選択が困難な方には、二者択一など、自己決定できるような工夫を取り入れている。 本人の嗜好に合わせた食事ができるようにもしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の目標はありますがスキンシップや声掛けによりご本人の希望や状態を把握し、個別の希望に沿うように心掛けています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 身だしなみやおしゃれの支援は、個々の意思及び意見を尊重し、それに基づいた支援を行っています。理容、美容に関してはご本人や家族の意思に御任せしているが定期的な出張理容も依頼しています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご利用者には、体調や気分を窺いながら食事の準備を一緒にしています。 固定メニューは定めておらず、毎日買い物へ行き、その日のメニューを考え、調理を行います。 お箸、コップはご本人の馴染みの物を使用しています。 (外部評価) 準備や後片付け等、利用者のできることを無理なくしてもらっている。体の中から元気になってもらいたいとの思いから、出汁を取ったり、旬の食材を使って充実した食事内容になるよう取り組んでいる。食事介助の必要な利用者への声かけ等工夫し支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の食事量や水分摂取量をチェック表に記入し、1日の摂取量が確認出来るようにしています。 食事に関しては、調理の検食記録に献立、食材を記入し、バランスの良い食生活が出来るように心掛けています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、出来ているかチェックしています。 又、口腔内異常や義歯の不具合がある場合は、すぐにナースに連絡しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個人の排泄リズムを把握するため、排泄チェック表に記入しています。 ご利用者一人ひとりの様子や体調によっても、その都度すぐに対応し、自立に向けた支援を行っています。	
			(外部評価) 排泄チェック表に記録して、利用者一人ひとりのパターンを把握している。時間や表情等でタイミングを見て声かけや誘導を行い、トイレでの排泄を無理のない範囲で支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表にて排便が見られない場合には、水分量や運動量を勧めたりしながら、自然排便を促しています。 状況によっては、ナースに連絡し、緩下剤等の量を調整するようにしています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴チェック表に記入し、入浴を行った日を確認し、隔日には、入浴が出来るように支援しています。 又、バイタルやご本人の希望に基づきその日の体調に応じた時間帯や入浴方法で対応するようにしています。	
			(外部評価) 入浴の時間帯や回数等は概ね決まっているが、利用者の体調や希望等により柔軟に対応している。職員は入浴中の利用者との会話を大切にしており、利用者がリラックスして入浴できるよう心がけている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は活動的に生活できるように心掛けておりますが、体調や様子をみながら声掛けを行い疲れているようであれば、適時ソファや居室で休んで戴くようにしています。 夜間は安心して気持ちよく眠れるように室温やベット周りの整備を心掛けています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 毎回服薬確認を行う様に職員同士の声かけや薬の一覧表の確認を行っています。 必ず、ご本人の前で薬の袋から手渡しで確認し、誤薬や飲み忘れ防止に努めています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 毎月、その人に合ったレクリエーションを計画し午前か午後に必ず行うようにしています。 数回は、おやつ作りや皆が関われる食事作りのお手伝いなどにも参加して頂き、役割や楽しみが持てるように支援しています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気の良い日には、外気浴を行ったり、ご本人の散歩希望にも対応しております。 季節にもよりますが、月に1～2回行事としての外出時には、車椅子全介助の利用者も全員参加出来るように支援しています。 (外部評価) 毎月、外出行事を企画し季節の花を観賞したり、ドライブに出かけている。天気の良い日は、事業所の周辺をのんびり散歩し外気浴を楽しんでいる。受診の際の外出や家族と一緒に出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分で自己管理のできる方は自己管理され、出来ない方は事業所でお預かりしておりますが、お買い物に行ったり、ご本人希望で購入する時は、自分で支払が出来るように職員が付き添い支援しています。 こずかい帳の記入と適宜家族へ報告や提示するようにしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人が、家族に電話を希望される場合は、その支援を行います。 年に一度の年賀状や手紙は、記入困難な利用者でも家族や大切な人宛に送れるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 共同生活空間は、居心地良く過ごされるように考え、その月にあった利用者の制作物などの展示をしたり、生花など季節感を取り入れる努力をしています。一人ひとりがその人らしく過ごせる場となる様に価値観を大切にしながら、工夫と配慮をしています。</p> <p>(外部評価) 全体的に明るくゆったりとした造りで、両ユニットから中庭を眺めることができ開放感がある。リビングには畳の間があり、思い思いの場所で自由にくつろぐ事ができる。利用者の作品や飾りや花が活けてあり、季節が感じられるように工夫されている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) 共同空間のリビングでは、一人ひとりの席が決まっており、その空間では、居場所が確保されております。フローアには、ソファ等が置かれていて各自が落ち着く場所があります。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 居室は、プライバシーを大切に居心地よく、安心して過ごせるように考えています。馴染みの物を活かしたり、スペースも十分に考え、安全に対応できるように一人ひとりに合った個室を工夫しています。</p> <p>(外部評価) 居室には使い慣れた物を持ち込んだり作品を飾ったり、それぞれ趣きの違った居室になっている。希望により床に畳を敷くこともできるように畳を用意している。一人ひとりに合った生活しやすい居室になるように支援している。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 一人ひとりの利用者が自立した生活が送れるように、身体の状態に合わせた危険防止や自分の力を活かして動ける個別の道具を工夫しています。足元センサーマットやご本人に合った歩行器や車椅子の調整及び視力障害者への配慮等、常に職員間で検討しています。</p>	